

調 査 の 概 要

1 調査の目的

学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的とする。

2 調査周期

昭和23年度より毎年実施。

3 調査期日

令和3年5月1日現在。

ただし、「卒業後の状況調査」は令和2年度間の卒業者について、令和3年5月1日現在。

4 調査対象

幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校並びに市町教育委員会

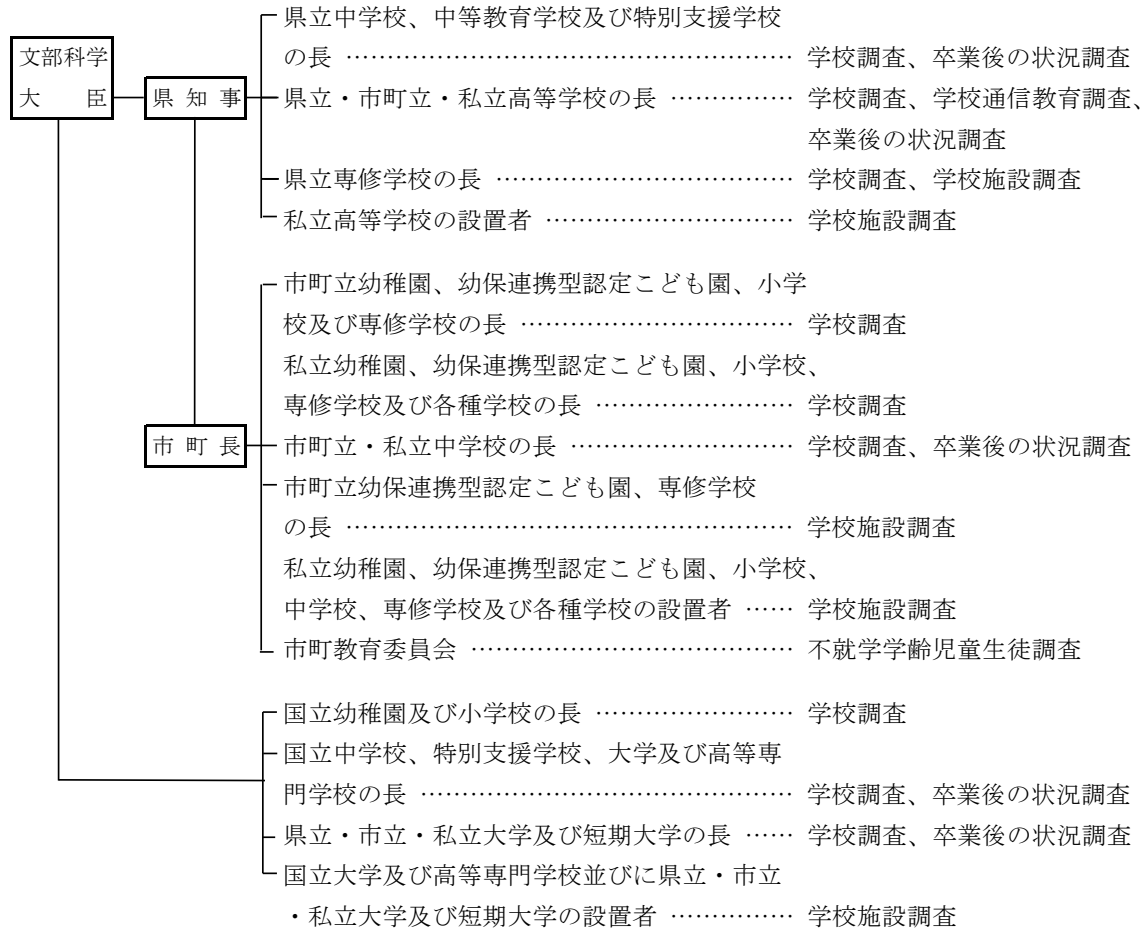
(注1) 大学、短期大学、高等専門学校及び国立学校については、文部科学省の直接調査となっている。

(注2) 国立の学校には、国立大学法人及び独立行政法人国立高等専門学校機構の設置する学校を、公立の学校には、公立大学法人の設置する大学及び高等専門学校をそれぞれ含む。

5 調査の種類、調査事項及び報告義務者・作成者

調 査 の 種 類	調 査 事 項	報 告 義 務 者 ・ 作 成 者
学 校 調 査	学級数、教員及び職員数、 在学者数、入学者数及び 卒業生数等	学 校 長
学 校 通 信 教 育 調 査	教員及び職員数、生徒数、 入学者数等	同 上
卒 業 後 の 状 況 調 査	卒業生数（令和3年3月）、 卒業生の進学・就職等の状況	同 上
不 就 学 学 齢 児 童 生 徒 調 査	就学免除者数、就学猶予者数、 1年以上居所不明者数及び令 和2年度間の死亡者数	市 町 教 育 委 員 会
学 校 施 設 調 査	土地又は建物の用途別、構造 別等の面積	学 校 設 置 者 学 校 長

6 調査系統



7 本年度調査の主な変更点

学校調査票（中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校）

学校通信教育調査票（高等学校）

「本務者のうち休職等教員数」を男女別で把握するとともに、休職等理由区分に「介護休業」を追加するとともに、休職等理由区分に「介護休業」の項目を追加する。

調査結果の概要

I 概況

1 幼稚園

(1) 園数 162園(国立1園、公立29園、私立132園：前年度比4園減)

(2) 園児数 13,104人(前年度比769人減)

2 幼保連携型認定こども園

(1) 園数 30園(公立13園(うち分園0)、私立17園：前年度比1園増)

(2) 園児数 3,299人(前年度比248人増)

3 小学校

(1) 学校数 300校(国立2校、公立297校、私立1校：前年度比3校減)

(2) 児童数 65,000人(前年度比1,289人減) 昭和58年度以降、連続して減少。

4 中学校

(1) 学校数 161校(国立2校、公立151校、私立8校：前年度比3校減)

(2) 生徒数 33,721人(前年度比44人増)

(3) 高等学校等進学率 98.1%(前年度比0.2ポイント低下)

(4) 卒業者に占める就職者の割合 0.3%(前年度比0.1ポイント低下)

5 高等学校(全日制・定時制課程、通信制課程)

◇ 全日制・定時制課程

(1) 学校数 78校(公立58校、私立20校：前年度比1校減)

(2) 生徒数 30,983人(前年度比1,068人減) 平成2年度以降、連続して減少。

(3) 大学等進学率 44.2%(前年度比0.1ポイント低下)

(4) 卒業者に占める就職者の割合 29.9%(前年度比1ポイント低下)

◇ 通信制課程

(1) 学校数 独立校2校(すべて私立)、併置校5校(公立1校、私立4校)の計7校(前年度比同数)

(2) 高等学校の通信教育について協力する高等学校(協力校) 7校(すべて公立)

(3) 生徒数 3,593人(前年度比364人増)

6 中等教育学校

(1) 学校数 1校(公立：前年度比同数)

(2) 生徒数 584人(前期課程 309人、後期課程 275人：前年度比24人減)

7 特別支援学校

(1) 学校数 14校(国立1校、公立13校：前年度比同数)

(2) 在学者数 1,834人(前年度比38人増)

8 専修学校

(1) 学校数 41校(公立3校、私立38校：前年度比1校減)

(2) 生徒数 4,257人(前年度比134人減)

9 各種学校

(1) 学校数 38校(すべて私立：前年度3校減)

(2) 生徒数 3,139人(前年度比527人増)

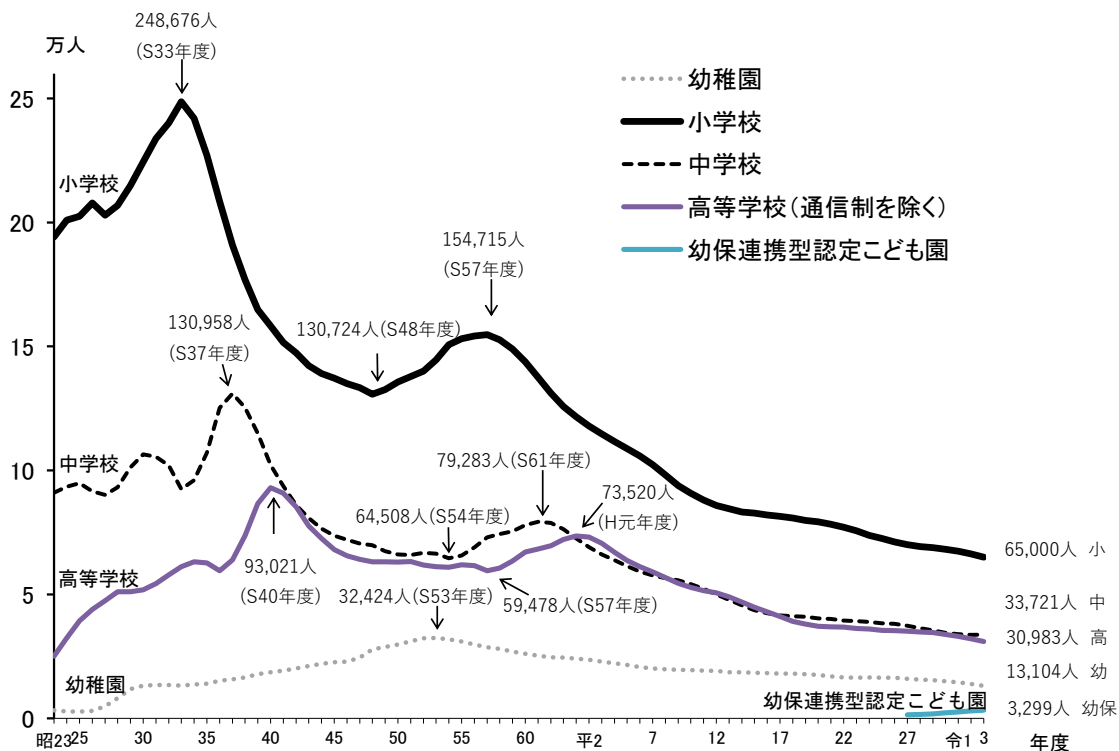
学 校 総 覧

(令和3年5月1日現在)

区 分	学 校 数			学級数	在 学 者 数			卒 業 者 数		
	計	本 校	分 校		計	男	女	計	男	女
幼 稚 園	162	162	—	693	13,104	6,754	6,350	4,860	2,505	2,355
国 立	1	1	—	5	86	43	43	32	19	13
公 立	29	29	—	64	665	347	318	360	179	181
私 立	132	132	—	624	12,353	6,364	5,989	4,468	2,307	2,161
幼保連携型認定こども園	30	30	—	123	3,299	1,705	1,594	754	409	345
公 立	13	13	—	51	1,324	704	620	360	196	164
私 立	17	17	—	72	1,975	1,001	974	394	213	181
小 学 校	300	296	4	3,228	65,000	33,201	31,799	…	…	…
国 立	2	2	—	24	761	368	393	…	…	…
公 立	297	293	4	3,204	64,239	32,833	31,406	…	…	…
私 立	1	1	—	—	—	—	—	…	…	…
中 学 校	161	159	2	1,465	33,721	17,243	16,478	11,107	5,671	5,436
国 立	2	2	—	21	677	331	346	223	109	114
公 立	151	149	2	1,400	31,956	16,381	15,575	10,527	5,396	5,131
私 立	8	8	—	44	1,088	531	557	357	166	191
高等学校（全日制・定時制）	78	69	9	…	30,983	15,575	15,408	10,503	5,161	5,342
公 立	58	49	9	697	21,310	10,711	10,599	7,337	3,602	3,735
私 立	20	20	—	…	9,673	4,864	4,809	3,166	1,559	1,607
高等学校（通信制）	7	7	—	…	3,593	1,752	1,841	1,049	527	522
公 立	1	1	—	…	817	402	415	104	42	62
私 立	6	6	—	…	2,776	1,350	1,426	945	485	460
中等教育学校	1	1	—	18	584	213	371	211	84	127
公 立	1	1	—	18	584	213	371	211	84	127
特別支援学校	14	13	1	517	1,834	1,200	634	375	232	143
国 立	1	1	—	9	41	27	14	11	5	6
公 立	13	12	1	508	1,793	1,173	620	364	227	137
専 修 学 校	41	41	—	…	4,257	1,482	2,775	1,938	804	1,134
公 立	3	3	—	…	329	68	261	134	36	98
私 立	38	38	—	…	3,928	1,414	2,514	1,804	768	1,036
各 種 学 校	38	38	—	…	3,139	1,928	1,211	16,541	10,329	6,212
私 立	38	38	—	…	3,139	1,928	1,211	16,541	10,329	6,212
大 学	10	10	—	…	20,187	11,536	8,651	3,901	2,053	1,848
国 立	1	1	—	…	10,140	6,348	3,792	…	…	…
公 立	3	3	—	…	4,875	2,427	2,448	…	…	…
私 立	6	6	—	…	5,172	2,761	2,411	…	…	…
短 期 大 学	5	5	—	…	773	79	694	339	43	296
私 立	5	5	—	…	773	79	694	339	43	296
高 等 専 門 学 校	3	3	—	…	2,516	1,853	663	422	315	107
国 立	3	3	—	…	2,516	1,853	663	422	315	107

- (注) 1 休校（休園）を含む。
 2 高等学校（全日制・定時制）の「学級数」は、公立の本科において教科外活動としてのホームルーム活動を行うために編成されている学級の数。また、「卒業生数」は本科卒業生の数。
 3 高等学校（通信制）は、独立校と併置校の合計数。
 4 中等教育学校は、前期課程と後期課程の合計数。また、「学級数」について、後期課程は教科外活動としてのホームルーム活動を行うために編成されている学級の数による。
 5 特別支援学校の「卒業生数」は、中学部と高等部の卒業生の合計数。
 6 大学の「在学者数」は学部学生の数（大学院、専攻科・別科の学生及び聴講生等を含まない）。また、「卒業生数」は学部卒業生の数。
 7 短期大学の「在学者数」は本科学生の数（専攻科・別科の学生及び聴講生等を含まない）。また、「卒業生数」は本科卒業生の数。
 8 高等専門学校の「在学者数」には、本科学生のほか専攻科の学生及び聴講生等を含む。また、「卒業生数」は本科卒業生の数。

図1 園児・児童・生徒数の推移



- 幼稚園園児数は、昭和53年度をピークに減少傾向がみられる。
- 小学校児童数は、昭和33年度をピークに減少していたが、昭和48年度を底にして昭和57年度まで増加した後、再び減少し、今年度は過去最低となっている。
- 中学校生徒数は、昭和37年度をピークに減少傾向がみられたが、昭和54年度を底にして昭和61年度まで増加した後、再び減少していたが、今年度は前年度より増加している。
- 高等学校生徒数は、昭和40年度をピークに減少傾向がみられたが、昭和57年度を底にして平成元年度まで増加した後、再び減少している。